

館で行われ、演劇ファンら約350人が鑑賞した。

同市を拠点に演劇教室な



県内3劇団競演 観客350人を魅了

高校演劇部など

県内三つの劇団が競演す

る「+Art」（プラスア

ト）2018」が25日、鹿

児島市上谷口町の松元公民

どを主宰する「kamac

hiyya（かまちや）」

が「幅広い世代の人に芸術

を身近に感じてもらう」

と、昨年にかけて主催。約

40年の歴史を持つ「劇団い

ぶき」や、松陽高演劇部な

どが星をテーマに異なる演

目をそれぞれ披露した。

同演劇部は、宮沢賢治の

童話「よだかの星」を上演。

醜い鳥「よだか」が仲間か

ら居場所を追われた末、星

になるうと天空を目指して

翼をはためかせる場面で

は、迫真の演技に観客が引

き込まれていた。

鑑賞した錦江湾高3年、

迫真の演技で「よだかの星」
を披露する松陽高の生徒たち

若松歩さん(17)は「音響を効果的に使うことで盛り上がったたり、感動したりする場面があつて面白かつた」と話していた。

かまちやの仮屋團修太代表は「今後も鹿児島島の演劇文化を盛り上げていきたい」と語った。